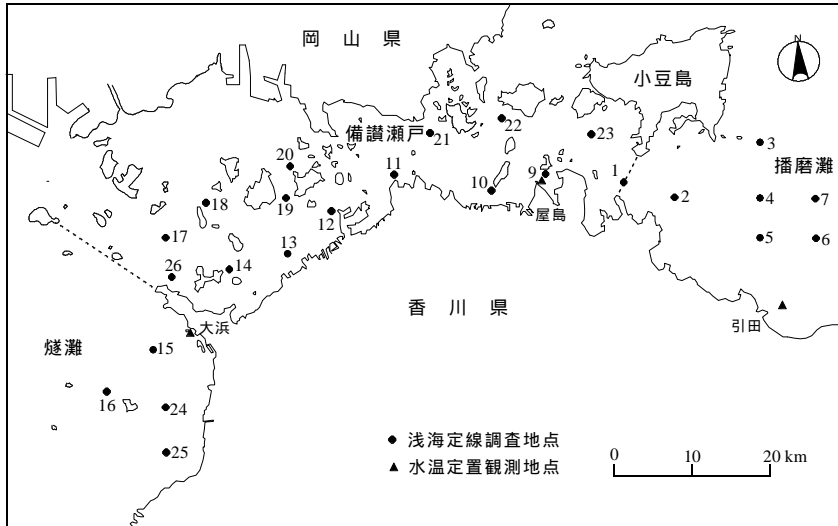


香川県漁海況速報 平成20年 3月 (H19-12号)

香川県水産試験場

1. 海況

1) 観測地点



2) 浅海定線調査

(1) 調査日

平成20年3月4日 (播磨灘) 3日 (備讃瀬戸、燧灘)

(2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「平年並みからやや高め」、塩分は「やや高め」、透明度は「平年並みから著しく高め」、溶存酸素は「やや低めから平年並み」であった。

		水温 (°C)			塩分 (PSU)			透明度	溶存酸素 (ml/L)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層	(m)	表層	底層
播磨灘	7地点平均値	8.7	8.7	8.7	33.4	33.4	33.4	10.9	6.46	6.42
	平年値	8.7	8.6	8.5	32.7	32.8	32.8	9.4	6.68	6.55
	平年偏差	0.0	0.1	0.1	0.6	0.6	0.6	1.5	-0.22	-0.13
	状況	平年並み	平年並み	平年並み	やや高め	やや高め	やや高め	やや高め	やや低め	平年並み
備讃瀬戸	14地点平均値	9.4	9.3	9.3	33.6	33.6	33.6	8.6	6.35	6.46
	平年値	8.8	8.7	8.7	32.9	32.9	32.9	5.8	6.45	6.47
	平年偏差	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	2.8	-0.10	-0.01
	状況	やや高め	やや高め	やや高め	やや高め	やや高め	やや高め	著しく高め	平年並み	平年並み
燧灘	4地点平均値	9.8	9.8	9.8	33.7	33.7	33.7	9.2	6.43	6.36
	平年値	9.6	9.4	9.3	33.1	33.2	33.2	8.1	6.60	6.35
	平年偏差	0.2	0.4	0.5	0.6	0.5	0.5	1.1	-0.17	0.02
	状況	平年並み	平年並み	平年並み	やや高め	やや高め	やや高め	平年並み	平年並み	平年並み

平年偏差 = 平均値 - 平年値

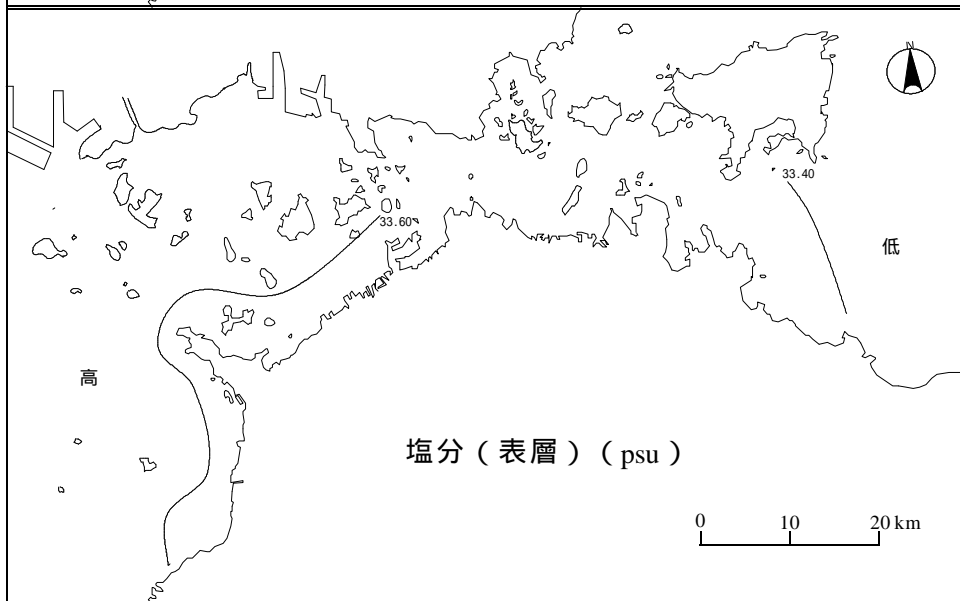
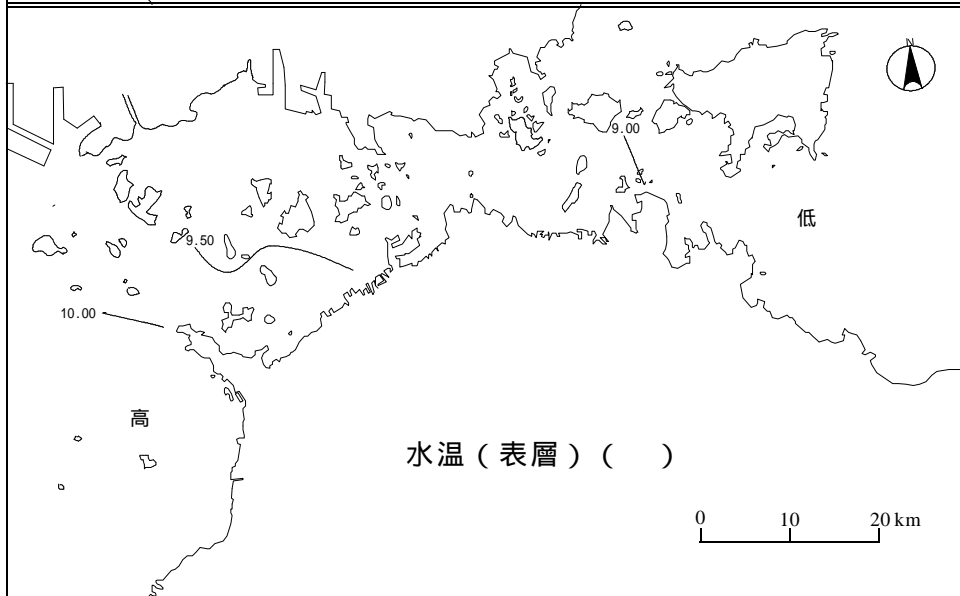
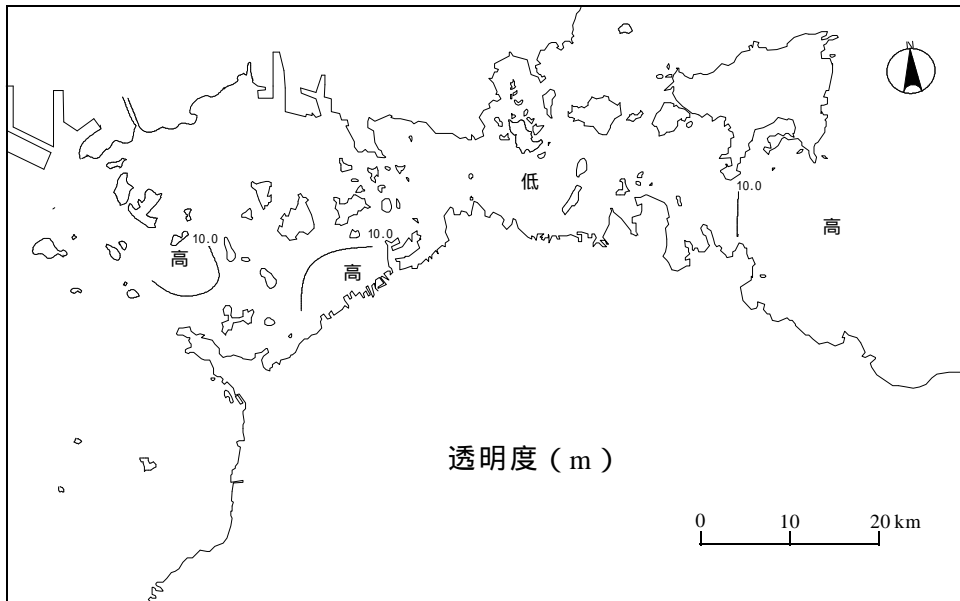
平年値の算出期間

水温、塩分及び透明度：昭和48年（1973）1月～平成13年（2002）12月

溶存酸素：昭和48年（1973）2月～平成13年（2002）12月

水温は、毎月1日の値に補正。

平年並み	0	平年偏差 < 0.6	(: 標準偏差)
やや高め (やや低め)	0.6	平年偏差 < 1.3	
かなり高め (かなり低め)	1.3	平年偏差 < 2.0	
著しく高め (著しく低め)	2.0	平年偏差	



3) 定置観測(水温)

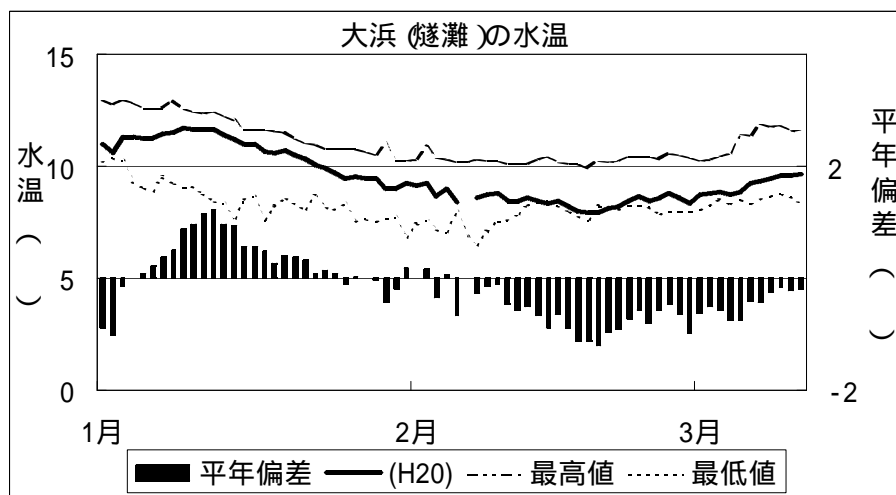
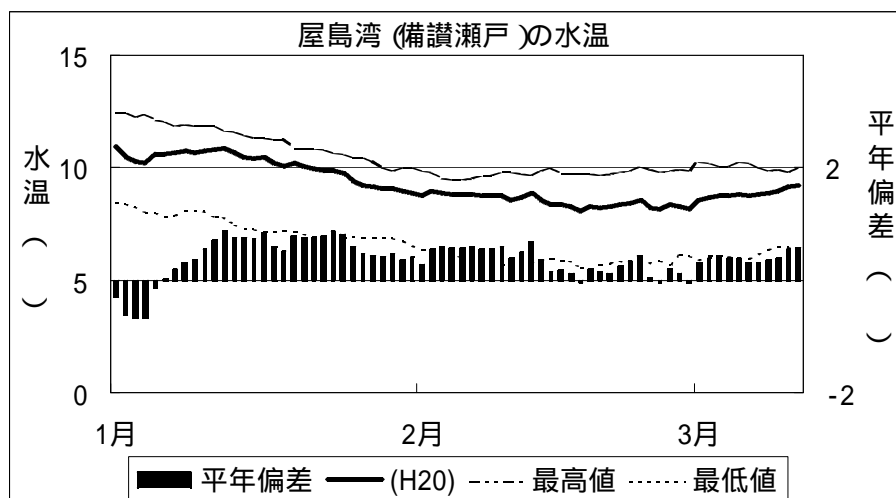
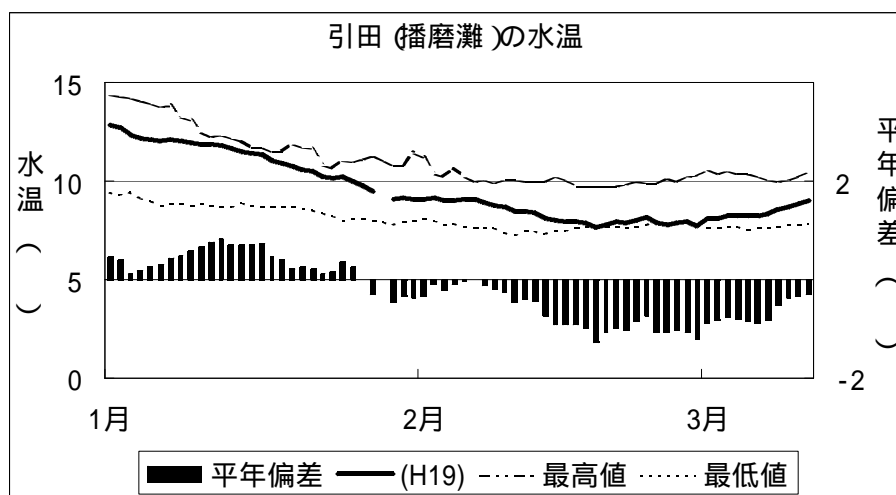
播磨灘(引田): 2月上旬は平年並み、中・下旬はやや低めからかなり低め、3月上旬はやや低めから平年並みで推移している。

備讃瀬戸(屋島): 2月上旬はやや高め、中旬以降は平年並みで推移している。

燧灘(大浜): 2月上旬は平年並み、中・下旬はやや低めからかなり低め、3月上旬はやや低めから平年並みで推移している。

平年値の算出期間 引田及び大浜: 平成元(1989)～平成18(2006)年

屋島: 昭和50(1975)～平成18(2006)年



4) 赤潮 (2月7日～3月11日)

播磨灘：発生なし。
備讃瀬戸：発生なし。
燧灘：発生なし。

5) 卵稚仔

調査日：平成20年3月4日 (播磨灘) 3日 (備讃瀬戸、燧灘)

出現量

個(尾) / 曳網

	カタクチイワシ		マイワシ		イカナゴ		その他の魚類	
	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.63
備讃瀬戸平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.07	0.00	0.27
燧灘平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.43
総平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.03	0.00	0.40

対平年値

	カタクチイワシ		マイワシ	
	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	-	-	-	-
備讃瀬戸平均	-	-	-	0.0%
燧灘平均	-	-	0.0%	0.0%
総平均	-	-	0.0%	0.0%

- : 平年値が0の場合を示す。

平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55(1980)～平成18(2006)年度

マイワシ：平成5(1993)～平成18(2006)年度

イカナゴ：昭和55(1980)～平成18(2006)年度

各調査点でカタクチイワシ卵の出現はなかった。

2. 漁況

2月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	底びき網では主にウシノシタ類、メイタガレイ、小エビ類が漁獲されているが、全般的に少ない。
備 讃 瀬 戸	底びき網では主にウシノシタ類、メイタガレイ、イイダコ、マアナゴが漁獲されている。 中讃・高松沖のタイラギ潜水器漁業の漁獲量はむき身で100～140kg / 日・隻と前年並みの漁獲であって、漁獲サイズは中～大主体である。 高松及び庵治沖のイカナゴ込網の2月までの漁獲量は73トンで前年の23%、平年(平成3年から平成17年までの平均)の15%と不漁である。
燧 灘	底びき網では主にウシノシタ類、マコガレイ、シャコ、小エビ類が漁獲されているが、メイタガレイが少ない。